

ぼらっと

2016年
7月28日発行
67号

発行元 〒020-0541 雫石町千刈田 82-2
雫石町総合福祉センター内
雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
☎：692-2230/FAX：691-1140
e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp
http://www.shisha.or.jp

★親子DEキャンプ開催のお知らせ★

秋はドキドキ！？ワクワク！！楽しいこと盛りだくさん♪♪
親子で楽しめる内容をご用意しています！！

開催日：10月15日(土)～10月16日(日) ※宿泊を伴う

場所：雫石町総合福祉センター

参加対象：町内に住む小学生のお子さんと保護者

定員：10組

※日程等詳しい内容につきましては、あらためてお知らせいたします。小学生のお子さんがいるご家族はお見逃しなく♪



平成28年度サロンスタッフ研修会を開催しました！



盛岡市消費生活センター佐藤氏による講義の様子

6月3日(金)に盛岡市消費生活センター佐藤氏とNPO法人ウェルネスクラブ工藤氏を講師にお迎えし、研修会とサロンスタッフさん同士の交流会を行いました。佐藤氏からは「悪徳商法に負けない！身近に迫る詐欺の手口・内容について」をテーマに特殊詐欺の事例紹介や、詐欺等に騙されないための心構えを教えてくださいました。盛岡市消費生活センターは、当町からの相談窓口にもなっているとのことなので、ちょっとしたことでも同センター(TEL:019-624-4111)へ情報提供・相談してもらえればありがたいとお話でした。



NPO法人ウェルネスクラブ工藤氏による
レインボー脳刺激体操の様子

工藤氏からは、「いつまでも元気でいられるように！サロンでできる健康づくり」をテーマに、座ってできるレインボー脳刺激体操、けんこつ体操等、無理なく行える体操を教えてくださいました。体操は続けてもらうことが大事なので、週2回、できれば毎日やると効果が上がるとのことでした。

参加者の方々からは、「レインボー体操で少し若返ったような気分です」「参加者の皆さんといろいろなお話ができて良かったです」等の感想をいただきました。



6月12日(日)に第12回いわて銀河100km チャレンジマラソンが開催されました。大会前日からボランティアに参加された男厨会会長大村悦正さん、雫石中学校家庭科部部長坂井奈月さん、家庭科部顧問及川美幸先生にお話を伺いましたのでご紹介します♪

★いわて銀河100km マラソンって？

⇒100km マラソンの部、50km マラソンの部、100km 駅伝の部に分かれ、スタートの北上総合運動公園(50kmの部は沢内バーデン)から、ゴールの雫石総合運動公園を目指す大会です。今年は1,925名が出走されました(大会HPより)。

★男厨会って？

⇒「男子、厨房に入る会」の略称で、町内の60歳以上の男性19名を会員とするボランティア団体。活動は主に健康管理・調理技術向上のための実習や、町内のイベント等でボランティア活動を行っています。

★おもてなし大作戦！？

⇒チャレンジマラソンでは活動の一環として男厨会が「銀河鍋(豚汁)」の提供協力を行っており、協力は今年で4回目。今年雫石中学校家庭科部の生徒さんと一緒に前日から材料を切って準備を行い、当日は約2700食分を用意。ゴールした選手の皆さんに、おもてなしの気持ちを込め銀河鍋を提供しました。



男厨会会長
大村悦正さん
★今回の活動
はいかがでしたか？

中学生さんと
このような形で活動するの

は初めてでしたが、自分たちが高齢化し、作業が体力的に厳しくなる中、若い学生の協力がありがたい大変助かりました。

★学生や若い世代がボランティア活動に参加することについて

学生が奉仕的な活動に参加し、義務教育以外の活動の場ができるのは良い事だと思います。また、自分たちから見れば孫世代の生徒さん方とコミュニケーションが取れることも嬉しく思います。



雫石中学校
家庭科部部長
坂井奈月さん
★家庭科部の普段の活動は？

縫い物をしたり
ビーズで作

ったりいろいろですが今は個人で好きなものを作っています。

★今回参加してみての感想を教えてください

前日の準備はひたすら切る作業で大変でしたが、選手の皆さんが笑顔で銀河鍋(豚汁)を受け取ってくれて、前日の努力が報われたと思いました。

★男厨会と一緒に活動してみたいかがでしたか？

皆さん気さくにいろんな話をしてくれて、経験が豊富なんだと感じました。



雫石中学校家庭科部
顧問 及川美幸先生
★家庭科部のボランティア活動参加のきっかけを教えてください

社協のボランティア講習会をきっかけに男厨

会さんを知り、家庭科部で何かお手伝いできることがあればと思い、参加させていただきました。

★生徒さんがボランティア活動に参加することについて

生徒たちがボランティアや様々な経験を通して成長してもらえたらと思いますし、将来的には町に残ってもらえたらいいなと思います。

今回材料を切るのも生徒にとってはかなり大変なことだったと思います。男厨会さんの活動を見てどう感じたか、また自分たちが活動してみて何を感じたか生徒とふりかえりたいです。

突撃!

ふれあいサロン

今回は、今年新しく設置された大村地区ふれあいサロンを訪問した時の様子をご報告します!

同サロンには現在13名の会員さんがおられ、毎月1回、体操やゲーム、お茶会を行っています。

訪問時は美空ひばりの「川の流れるように」に合わせて体操をされているところでした。歌いながら体を動かすと、自然と笑顔になりますね♪

その後は代表の藤本伸子さんがお持ちになった漬物やフルーツ和えを食べながら談笑。皆さん話題が豊富で笑いが絶えません!

出前講座では後出しジャンケンとカツラDEジャンケンリレーを行い、皆さんに盛り上げていただきました♪



カツラDEジャンケンリレーで大盛り上がり!

「ボランティア活動について知りたい!」「どんなボランティア団体があるの?」など、ボランティアに関する疑問にお答えします!

教えて! ボランティア

~ご存知ですか?

ボランティア活動保険~

VOL.8

Q. もしもボランティア活動中にケガをしたら、どうしよう?

A. 「自分がケガをしたら…」 「相手にケガをさせてしまったら…」 「活動場所の物を壊してしまったら」など、ボランティア活動をする上での万が一のケガや事故等に備え、ボランティア活動保険への加入をおすすめしています。ボランティア活動保険の加入は町社協ボランティア活動センターにて受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

町社会福祉協議会ボランティア活動センター
TEL: 692-2230 担当: 石川・澤口

